

様式 3

平成 30 年度 第 1 回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取湖陵高等学校  
 学校長 濱 崎 公 嗣

評 価 日		平成30年 7 月 2 日 (月)			
委 員	氏 名		性別	資格・所属等	委員長
	高田 裕子		女	鳥取湖陵高等学校 P T A 副会長 欠席	○
	山本 亨		男	鳥取市立高草中学校長	
	平家 裕一		男	湖山西地区公民館長	
	伊奈 公子		女	鳥取大学附属幼稚園副園長	
	伊田 大輝		男	鳥取湖陵高等学校同窓会長	
評 価 ・ 提 言				学校の所見・改善策等	
<p>1 前年度の最終評価について 特に意見なし</p> <p>2 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>○附属幼稚園で情報科学科や人間環境科の生徒さんがすばらしいクレイアニメなどの作品を発表いただき、園児たちは大変喜んでいる。作品披露に加えて、わかりやすい説明などがうまくなれば、交流の意味がさらに深まると感じる。</p> <p>○昨年度も生徒が先生役となることで学習を深める取り組みをしていると聞いた。昨年度の成果は？</p> <p>3 今年度の評価計画について</p> <p>(1)目標設定について 特に意見なし</p> <p>(2)目標達成のための取組について</p> <p>○鳥取大学では学力より資格取得などを評価する目的の農学部推薦 I 入試に 8 名の定員がある。この入試では JGAP や HACCP の取組も生かせるので、是非挑戦して欲しい。高校 1 年次より大学進学希望者への取組はあるか？</p> <p>○生徒が先生役もよいが、プロから教わる経験も必要。地域の方から「薬物乱用防止」「人権教育」を高校生と一緒に勉強したいという声もある。</p> <p>(3)評価基準及び評価指標について 特に意見なし</p> <p>4 学校運営や予算に関する提言</p> <p>(1)スマートフォン・SNSの使い方について</p> <p>○アンケート結果を見て「ルール無く」スマホを使う生徒が多く心配する。講習会などで学習していると思うが、しっかり取り組んで欲しい。</p> <p>(2)生徒の発表する力について</p> <p>○農場での授業見学において自分の言葉で授業内容を説明できる生徒さんがいなかったのは残念。社会では自分の言葉で考えを伝えることは当たり前。もっと頑張って欲しい。</p> <p>(3)ホームページの更新について</p> <p>○進路実績・部活動などタイムリーな更新を望む。</p> <p>(4)その他</p> <p>・教科書採択の方法・選定理由等について了解。</p>				<p>○今年度専門高校 4 校でふるさと手作りまつりを実施し、生徒が小中学生にももの作りを教える。生徒が主体となるためには相当な準備が必要だが、今後も内容を深めていきたい。</p> <p>○今年度、全学年・大学進学希望者に対して鳥取大学体験ツアーなどを計画。早期に大学を知ることと普段の資格取得や就農体験などの取組を充実させる予定。</p> <p>○社会人講師授業など今年度も多く実施。日程をうまく調整し、授業とバランス良く実施したい。</p> <p>○毎年の講演会に加え、今年度はスマホアンケートの集計・分析を保健委員（生徒）が実施。生徒主体で、スマホとのつきあい方について効果のある提案をしたい。</p> <p>○授業内容の意味を考えながら作業できるよう圃場面積を適切な大きさにした。予め準備したプレゼン発表は良くできるので普段にも活かしていきたい。</p> <p>○職員会議で HP 更新について依頼したところ。生徒発信の記事なども随時アップし、学校の情報発信力を高めたい。</p>	